



平成 23 年 2 月 14 日

宮崎県立看護大学大学院  
研究科長 薄井 坦子 様

学位論文 (修士・博士) 審査委員

主査 氏名 (自署) 薄井 坦子

副査 氏名 (自署) 寺島 久美

副査 氏名 (自署) 菅沼 ちろ子

副査 氏名 (自署) 菅野 幸子

学位論文審査及び最終試験の結果報告書

このたび、審査委員会として、学位論文 (修士・博士) の審査及び最終試験を終了したので、その結果について下記のとおり報告します。

記

学生氏名	越 智 早 苗		学籍番号	0 8 3 3 0 0 2	
看護学専攻	理論看護学		指導教授氏名	薄井 坦子	
成績 評価	学位 論文	合 格	最終 試験	合 格	
論文 題目	大学病院の総合案内における看護の専門性 —経験の長い看護師の実践分析を通して—				
審査要旨	<p>本研究は、特定機能病院の総合案内における自己の3年間の看護実践から、看護になり得たと思われる91事例を分析し、看護の専門性を明らかにして管理実践指針10項目を導き出したものである。予備審査では、総合案内の重要性がようやく指摘され始めた時期に、多岐にわたる実践内容を浮き彫りにしたことが高く評価され、分析過程・指針抽出過程の事実的な裏づけを丁寧に進めるよう求められた。</p> <p>本審査では、選定した17事例に対する瞬時の対象・認識・表現のプロセスが看護の専門性に貫かれていることを示した点、および導き出された指針の有用性は認められたが、分析過程の一貫性と指針の抽出過程を表現するよう求められた。再審査の結果、分析過程が明確となり、総合案内における看護の専門性を、管理実践指針として可視化した点で、理論看護学上価値ある研究として認められた。多くの課題をかかえている今日の看護実践現場において活用されうる論文として、形式面を整えて完成度をあげるよう助言された。</p>				